

## 平成29年度（公財）加納美術振興財団事業計画（案）

H29.210 制定

- 平成25年度より5年間、安来市より安来市加納美術館の管理者に指定をされており、29年度は最終年度となる。協定に基づき美術館の管理運営と収蔵品の保持・保存業務を行うとともに、安来市はじめ地域文化芸術の掘り起しと振興に努める。
- 加納莞蓄のフィリピン戦犯釈放運動を通して確立されたキリノ大統領の「平和へのモラル（註）」を、フィリピンのキリノ財団と協力して世に広めていく活動を継続していく。  
（註）「平和へのモラル」＝赦し難きを赦し、憎しみの連鎖を断ち切る。  
\* 今期定款にその意を挿入する予定  
\* 記念碑建立寄付金の残余金で、「児童生徒平和国際交流基金（仮称）」を設置する。
- 当館の収蔵する陶磁器、日本画、油彩、墨彩画、水彩画、書、彫像、彫刻の美術作品の展示及びそれらに関する学術研究、講演会を実施する。
- 展示及び講演会などの宣伝、啓発広告は、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディア、電柱広告、安来市広報誌、SNSなどにより行うとともに、観光アドバイザーによる関東・関西へのアプローチを図る。
- 29年度は次の企画展及びイベントを行う。
  - 企画展  
3月18日（土）～5月22日（月）  
洋画家山崎修二の世界—斎藤与里から伝えられた感動とともに—  
5月27日（土）～7月10日（月）  
加納莞蓄と家族（仮称）  
7月15日（土）～9月18日（月）  
立体切り絵作家 SouMa の世界（案）  
9月23日（土）～10月23日（月）  
ヒロシマの校庭から届いた絵（案）  
10月28日（土）～12月24日（日）  
百年デザイン 出西窯の70年（仮称）  
平成30年1月6日（土）～3月26日（月）  
木村栖雲 画道一筋展（仮称）

通 期 『加納莞蓄』展、『名碗』展 等

### ② イベント

- 3月～11月 『名碗を愉しむ会』（茶会、毎月1回計8回、8月は除く）  
4月 安来ひなめぐり協賛  
10月 カルチャーバス（布部交流センターと共催）  
各展示にあわせ、講演会、ワークショップなどのイベントを企画する。

- 美術館のサービス向上 → 『癒しとくつろぎのある美術館』を目指して
  - 来館者への茶菓、抹茶のふるまいを継続する
  - 映像ガイドの導入 どじょっこTVと連携
  - 出前授業（学校、地域交流センター等）、講演
- 館の運営
  - 次世代を託せる学芸員の確保
  - ボランティア、サポーターの支援によるイベントのスムーズな運営
  - 各種ファンド、補助金制度などの利用
- 地域振興事業の推進
  - しまねミュージアム協議会、県内文化協会、文化事業団体などとの連携
  - 交流センターなどとの連携による、地域の美術、文化振興
  - 教育委員会等と連携して児童生徒の平和教育の支援及びユネスコ世界の記憶登録申請準備
- 作品、建屋、設備機器の修復
  - 燻蒸作業（美術館では5年毎の燻蒸が基本）
  - 作品台帳づくり（データ化）
  - 作品修復（シミ、カビ、破れなど5点程度）
  - 老朽化に伴う壁紙、絨毯などの貼り換え
  - 昨年秋の台風で被害をうけた敷地内看板の立て替え
  - 道路看板の整備修正
  - 温調、調湿機の運転による適性な展示環境作り
  - 庭の手入れ（除虫、除草の徹底）
  - 新収蔵庫建設推進
- その他
  - 戦犯助命嘆願関係の書類の整理・保存
  - 安来市開発公社貸付金残 23百万円公社破産管財人と返金交渉継続  
裁判所による民事裁判棄却